

十二等ヨリ十六等マテ

四井若々

自ニ土地等級ハ別表ニ示ス

第二條 反寢小作料、最高一石六斗五升トシ 最低一石一千升五合トス

第一章 基尼、直定

第三條 第二條一規定ニヨリ減免直定並ニ第二十九條ニヨリ

認定ヲ受ケタル者ハ刈取二十日前ニ申組合ニ申出レオ要大

第四條 前本ニヨリ組合員ヨリ届出アリタル時ハ組合長ハ委員
會ヨリテ実地立毛陳査ヲナシメ改訂減免小作料ヲ決定スルモノ

第五條 収量調査ハ坪川法トシ完全ナル嘉潔無芒種ハ五十

貫有芒種ハ五十貫ヲ以テ一石ト看破ス

但シ疾患直定、労力ハ申出人、負担トス

第六條 小作者收穫高全府平均反当ニ石ヲ下ル見込一場合は

旗立金ノ範囲ニテ規定額米高ニ應レ平均配当ス

第七條 組合員ニシテ本組合ヨリ脱退シ又一部解約スルコト

アルヌ旗立米ハ返却セサレモトス

第八條 解散ニ際ニテ基本金ハ組合員ニ支拂シ共济準備金ハ其の當時ノ小作者ニ交付スルモトス

第九條 旗立米ハ賣却一二預金スルモトス

第三章 水利費

第十條 水利費用ハ全部地主、東坦トシ之ニ開スル勞力ハ小作者、

東坦スルモトス

第四章 総合金

第十一條 本組合員、土地利用組合設立組合トシテ毎年夏作

、收穫期ニ玄米一年冬作、收穫期ニ小麦一年夏作

金五十錢、初春金ヲナス

第十二條 総合金ハ大石信用儲金組合ニ預ケテ、保管三
若シテ時尖署、相違シタる者アリタル時ハ本人ニ私負フ
為スコトヲ得